

事業所自己評価シート

令和4年度

職員による自己評価

A 環境・体制整備

駅からも近く、指導訓練室等十分なスペースも確保されて、環境も恵まれており、利用定員とスペースの関係についてもおおむね適切であると回答している。職員の配置数及びバリアフリー化はどちらもいえないが多い。

B 業務改善・適切な支援の提供

自己肯定感育成を重視し、習い事をツールとして活用している。英語クラス、そろばん、硬筆、eスポーツ等、選択肢を提供。習い事は歴史、手法、講師、経費などに優れ、社会性やコミュニケーション能力、礼儀作法も学ぶ要素も含まれる。褒めて自己肯定感向上に役立っている。

子供ひとり一人の個別支援方法を定期ミーティングを実施して、情報を共有しながら進めている。

保護者面談をできるだけ多く定期的に行い、情報共有に努め個別支援計画書を作成している。長短期目標設定し、適切な支援を提供する。また、長期休暇や土曜日はメリハリあるプログラム提供している。

C 非常時等の対応

非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練の実施を行い、緊急時対応マニュアル、感染症対応マニュアル、防犯マニュアルを策定し事業所内で共有をしている。

保護者による評価

A 環境・体制整備

駅から近く、途中車道を横切らずに通えることで安心して通わせられている。

公園が近くにあり、子どもたちが十分に運動して遊べる場所があるなど環境が良い。

B 業務改善・適切な支援の提供

習い事の種類が豊富で子どもたちが楽しく通っている。

児童が他の団体と関わる機会が少ないため、交流を望む声がある。また保護者同士の交流を望んでいる。

C 非常時の対応

おおむね満足している様子がうかがえるが、保護者への周知や説明があるとより良いと思われる。



事業所内での分析

【共通点】

駅から近くアクセスがしやすい。

近くに公園があり、子どもたちが安心して遊べる環境が整っている。

【相違点】

外部機関との交流や保護者同士の交流を望んでいる。

非常時の対応についてはおおむね満足しているが保護者への周知や説明がよりあると良い。

分析・検討してみたて…

事業所の強み

- ・ 駅から徒歩1分圏内にあり、安全で交通アクセスが良好。子どもたちが通いやすく、保護者が送り迎えしやすい場所にある。また、駐車場も併設し車での来所も可能。
- ・ 周辺は、一般道路から隔離され、関係者以外の車両の交通以外は安全で、子どもたちが安心して遊べる公園の一般道路を通らず行くことができる。また、自然に親しむ公園もある。
- ・ 療育として、多彩なプログラムを用意している。例えば、ネイティブによる英語クラスや、そろばん、硬筆、専任講師によるeスポーツなど、これらのプログラムを通じて、子どもたちは、社会性やコミュニケーション能力、礼儀作法など、大切な能力や専門的な指導を受けることで、将来的に有用なスキルを習得できる。

事業所の改善点

外部機関や保護者同士の交流を増やしていく
非常時の対応に対して保護者への説明や周知
を徹底する。

事業所の改善への取り組み

1.外部機関や保護者同士の交流を増やしていく。

この事業所では、外部機関や保護者同士の交流をもっと増やしたいと考えています。そのため、以下のような取り組みを行っていきます。

- ・ 外に出かけ、外部機関と交流する機会を増やす。
- ・ 保護者向けセミナーなどを開催し、保護者同士が交流できる場を提供する。

2.非常時の対応に対して保護者への説明や周知を徹底する。

この事業所では、非常時の対応に対して、保護者への説明や周知について改善が必要と考えています。そのため、以下のような取り組みを行っていきます。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

保護者同士の交流、外部機関との交流を増やしていくことが必要だと感じました。
今後も定期的にアンケートを実施して、保護者からの意見を支援に活かしていきたいと思
います。
アンケートにご協力ありがとうございました。

事業所名 カルチャーズデイ

担当者 宮城敏浩